

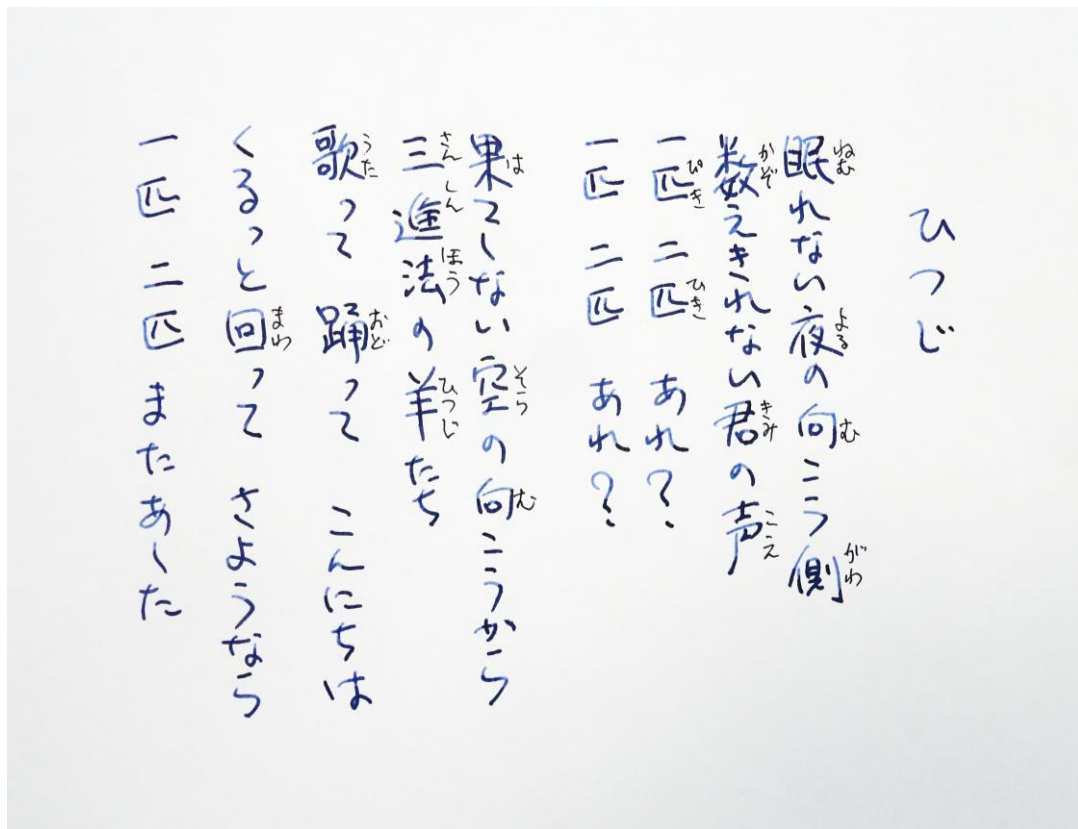


こころ す
心に棲むひらがな

2024/6/12

No.22

岩渕和信



「『あ』が好きな人? 『い』が好きな人? 『う』が好きな人?・・・」先生がみんなに聞いています。四月から書いてきたひらがなの一つ一つが気持ちとつながっています。

「次は、苦手な字をおしえてくれる?」「はい。い」

「い? 『い』が苦手な人いる? あ、いるねえ。さっきも背中に書いたとき『り』とまちがっちゃった子、たくさんいたしね。

他には?」「ゆ」「えー? ぼく『ゆ』簡単だよ!」

こうして、ひらがなが一つ一つ、自分の心とつながった道具になっていきます。



私がいなければ、この満月はなかった。木々もなかった。風もなかった。

私という視点が失われてしまえば、私が見ているあらゆるものは消えてしまう

でしょう。ただそれだけの話です。(『あん』 ドリアン助川)